

令和6年度 国富町立八代小学校 学校評価

【学校経営ビジョン】 優しさとかくましさを持ち、「知」「徳」「体」の調和のとれた子どもを育成するために、全職員の創意と工夫を生かし、地域と一体となった教育活動が展開される学校づくりに努める。

【評価・評定の基準】

4点：よい 3点：だいたいよい

2点：もう少し

1点：よくない

| 教育 課題 | 重点指導事項 | 評価項目 | 評価（3点以上の割合）↓ | | | 評価（得点）4点満点↓ | | | 自己 評定 | 自己評価の考察 （○成果　◎改善策） | 学校 関係者 評定 | 学校関係者評価コメント |
|--|------------------|--|--------------|-------------|--------|-------------|-------------|--------|----------|--|-----------------|---|
| | | | 児 童 | 保 護 者 | 職 員 | 児 童 | 保 護 者 | 職 員 | | | | |
| 学力 向上 対策 の 充 実 | 分かる授業作り | ① 学校は、分かる授業を目指し、児童に達成感や成就感を得させながら学習をさせている。 | 97% | 99% | 100% | 3.7 | 3.2 | 3.2 | 3.0 | ○自己調整学習スキルの育成と自由進度学習の授業を行ってきたことで、学びに向かう力を身につけてきたとともに、児童同士での学び合いを深めることにもつながった。 ○自分の学習の仕方についてふり返らせることを通して、自分の課題に気付き、繰り返し練習する姿が見られ、スキルアップの時間に基礎的な学力の定着を図ることができた。 ◎様々なイベントで図書室に行き、本を借りる児童が増えているが、読書の習慣化までには至っていない児童もいる。今後も、家庭との連携を深めて、読書意欲の向上に取り組んでいく。 ◎家庭での学習を充実させるために、保護者と連携をさらに図ったり、タブレットを活用したりしながら取組を進めていく。 | 3.1 | ○職員の個に向き合う指導や配慮のもと、取組の成果が表れていると感じる。 ◎自己調整学習スキルや自由進度学習は児童の主体性を重視したよい取組だと思うが、同時に児童の学びのフォローも必要だと感じる。 ◎児童が本を読む時間を増やしてほしい。 ◎読書に関しては、文字を読む環境づくりや児童が読んだ本を紹介するなどの工夫も必要だと考える。 |
| | 学力の定着と向上 | ② 児童に、基本的な学力（読み・書き・計算）が身についてきている。 | 91% | 87% | 93% | 3.3 | 3.2 | 2.9 | | | | |
| | | ③ 児童は、家庭での学習にしっかりと取り組んでいる。 | 83% | 58% | 79% | 3.2 | 2.7 | 2.8 | | | | |
| | 基本的な学習習慣の定着 | ④ 児童は、話を良く聞き、姿勢よく学習に取り組んでいる。 | 87% | 69% | 71% | 3.2 | 2.8 | 2.7 | | | | |
| | 特別支援教育の充実 | ⑤ 学校は、一人一人が存在感をもてる教育を行っている。 | 88% | 84% | 100% | 3.4 | 3.0 | 3.1 | | | | |
| | 読書意欲の向上 | ⑥ 児童は、進んで読書に取り組むことができている。 | 66% | 40% | 79% | 2.9 | 2.4 | 2.8 | | | | |
| 命を 培 う び 教 育 か な 人 実 間 性 を | 基本的な生活習慣の定着 | ⑦ 児童は、時と場に応じた言動ができている。 | 80% | 58% | 64% | 3.2 | 2.7 | 2.6 | 3.2 | ○委員会活動では、話し合い活動を行いながら、人権集会や図書集会などの計画を立て、実施することができた。自分の考えがもてるよう、話し合い活動の充実を目指す。 ○「靴箱の履き物を揃える」や「無言での清掃活動」など、全職員が共通認識の元、見届け・声かけを行ってきたことで、児童の意識が高まってきている。今後も学校全体で環境美化に努めることが出来るよう、声かけを行っていく。 ◎全職員で言葉遣いにおける指導を続けたことで、児童の意識の高まりが見られる。今後は、家庭や地域とも連携し、時と場を意識した丁寧な言葉遣いができるよう、指導を続けていく。 | 3.4 | ○学校での日々の指導がよいと考える。 ○児童が落ち着いており、学校もののびのびと穏やかな雰囲気があり、好ましい環境である。 ○人権問題や礼儀、あいさつ等を心がけることはよいことである。 ◎言動・マナー・思いやり等、道徳倫理については、大半は、家庭生活、社会生活で身に付くものだと思う。 ◎「五つの無言の場」を大切に取り組まれているが、必要かどうか見極めが必要と考える。 ◎児童自ら学習に向かう力を育てることが望まれていると思った。 ◎人権教室をもっと利用してほしい。 |
| | 危険予知・回避能力の育成 | ⑧ 児童は、通学路での安全やマナーをきちんと守り、自分の身を守るための判断力や行動の仕方が身についてきている。 | 96% | 84% | 93% | 3.7 | 3.0 | 2.9 | | | | |
| | 人権教育の推進 | ⑨ 児童は友達や周囲の人に思いやりのある行動ができている。 | 94% | 70% | 93% | 3.6 | 2.9 | 3.0 | | | | |
| | 特別活動、道徳の時間の充実 | ⑩ 児童は、自分の考えをもち、話し合い、自分自身のことを見つめることができる。 | 95% | 70% | 79% | 3.5 | 2.8 | 2.9 | | | | |
| | 積極的な生徒指導の推進 | ⑪ 先生は、子ども一人一人を大切にし、子どもに関する相談に適切に応じている。（いじめへの対応を含む。） | 94% | 90% | 93% | 3.6 | 3.1 | 3.5 | | | | |
| | 望ましい教育環境の整備 | ⑫ 児童の学習環境や学校の環境美化が整っている。 | 93% | 93% | 86% | 3.5 | 3.2 | 3.0 | | | | |
| 教育、 体育、 の 充 実 健 康 | 基礎体力・運動能力の向上 | ⑬ 学校は、子どもの体力を高める取組に努めている。 | 92% | 85% | 93% | 3.5 | 3.1 | 2.9 | 3.1 | ○一輪車や大谷グローブの導入により、児童が体力向上に取り組みやすい環境を整えることができた。 ○栄養教諭との連携を図ることで、各学年の食に関する指導の充実を図ることができた。 ◎体力テストの結果を受けて、児童に必要な解決策や取組等の紹介を発信していく。 ◎メディアコントロールに関わる取組を、今後も継続して行い、規則正しい生活リズムの定着を目指す。 ◎むし歯治療について、家庭間での意識に温度差があるので、今後も継続して啓発を行っていく。 | 3.1 | ○大谷グローブを導入し、体力向上の取組をすることはよいことである。 ◎メディアコントロールについては、学校での指導では成果が表れにくいと思うが、更なる取組をお願いしたい。 ◎バス通学や安全な学校環境などありがたい反面、児童の成長をみながら体力向上や危機管理能力を高めていく必要があると考える。 ◎地域や家庭にも児童の健康について、さらなる啓発が必要。 |
| | 保健・衛生習慣の定着 | ⑭ 児童は、メディアコントロール力を高め、「早寝・早起き・朝ご飯」や身だしなみなどの保健・衛生的な習慣が身に付いてきていると思える。 | 87% | 66% | 71% | 3.3 | 2.8 | 2.7 | | | | |
| | 望ましい食習慣の形成 | ⑮ 児童は、「食」に関心をもち、望ましい食生活の習慣が身に付いてきていると思える。 | 89% | 94% | 86% | 3.4 | 3.2 | 3.0 | | | | |
| | むし歯治療率の維持・向上 | ⑯ むし歯治療率の維持・向上が図られるとともに、保護者間で保健に対する意識が向上したと思える。 | 87% | 82% | 79% | 3.3 | 3.1 | 2.8 | | | | |
| 地域 校に づ 開 か り た 学 | 家庭・地域との連携体制確立 | ⑰ 学校は、家庭や地域の教育力（人材や自然等）を生かし、家庭や地域との連携体制づくりに努めている。 | | 94% | 100% | | 3.3 | 3.2 | 3.3 | ○地域や保護者の協力により、生活科や総合的な学習の時間などで、自然や地域のよさを学ぶ体験活動を行うことができた。 ○校長室だよりの発行、ホームページの定期更新また、学校メールの活用によって積極的な情報発信ができた。 ◎校長室だよりの発行、ホームページの定期更新また、学校メールの活用によって積極的な情報発信ができた。 ◎学校運営協議会や地域コーディネーターと連携して、地域学校協働本部の組織づくりをさらに進めていく必要がある。 | 3.8 | ○地域と連携がとれており、地域に開かれた学校作りが十分に行われており、また、児童が地域の祭やイベントに積極的に参加して、社会経験をしていることがよいと思う。 ◎今後も、学校と地域が連携して、安心した八代小になるともっとよい。 ◎地域のよさは、地域の方の協力のもと、体験活動をもっと多く取り入れてほしい。また、自然に囲まれた環境であるので、自然を生かした取組も必要だと考える。 |
| | ふるさとのおよさを学ぶ活動の充実 | ⑱ 学校は、家庭や地域と連携した活動を行ったり、地域のよさを学ぶ体験活動を取り入れたりしている。 | | 97% | 100% | | 3.4 | 3.4 | | | | |
| | 家庭・地域への情報発信 | ⑲ 学校は、保護者・地域への情報発信を、よく行っている。 | | 96% | 100% | | 3.3 | 3.3 | | | | |
| 総評と次年度に向けて | | 【本年度の取組に対する総評】 本年度は、昨年度の課題を踏まえ、学校経営ビジョンの達成に向けた取組を計画・実践した。どの項目も概ね3点以上となり、目標を達成している。評価が低かった項目については、取組を精選し、重点的に取り組んでいく必要がある。 【次年度に向けて】 次年度も八代中学校区コミュニティ・スクールとして、中学校、保護者、地域と目標を共有し、連携して教育活動を行っていくとともに、学校経営ビジョンの達成に向けた取組を整理・精選し、課題解決に向けて重点的に取り組む必要がある。 | | | | | | | | | | |